様式第１号（第１０条関係）

2023 年度業務実績報告書

提出日　　2024 年　2 月　9 日

１．職名・氏名　教授　佐々井　司

２．学位　　学位　工学修士、専門分野　人口学、授与機関　神戸大学、授与年　1992

３．教育活動

(1)講義・演習・実験・実習
①担当科目名（単位数）　主たる配当年次等
②内容・ねらい
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫
(2)その他の教育活動
内容 福井県立若狭高等学校「国際・社会探求」講師 福井県立大学「ふくい企業価値共創ラボ」講師 国際医療福祉大学「人口問題と政策」講師 名古屋市立大学「社会保障論」講師

４．研究業績

(1)研究業績の公表

① 著書

【　本】

② 学術論文（査読あり）

◇「人口減少の社会的背景と対応策～東京一極集中と地方における人口減少の見通し、及び地方創生の考え方について～」『論究』第 20 号、衆議院調査局、p29-38、2023.12.

【１本】

③ その他論文（査読なし）

◇「主要国における合計特殊出生率および関連指標：1950～2021 年」（共）別府海志『人口問題研究』第 79 巻第 3 号、国立社会保障・人口問題研究所、p206 - 213、2023.9.
◇「都道府県別標準化人口動態率：2022 年」（共）別府海志『人口問題研究』第 79 巻第 4 号、国立社会保障・人口問題研究所、p440 - 446、2023.12.
◇「都道府県別にみた女性の年齢（５歳階級）別出生率および合計特殊出生率：2022 年」（共）別府海志『人口問題研究』第 79 巻第 4 号、国立社会保障・人口問題研究所、p447 - 454、2023.12.

【３本】

④ 学会発表等

◇「日本における外国人人口の動向ならびに労働力需給に関する考察」
『東アジア学会』西南学院大学、2023.1.28.
◇「日本における地方創生と農業の果たす役割～人口動向が示唆する教訓～」『国際シンポジウム・日中における農村振興：都市と農村の共生』東京農工大学、2023.4.25.
◇「「人口減少社会の実情と課題：高まる外国人材の存在感」JICA 北陸共催セミナー『持続可能な地域経済と外国人労働者の新たな局面－責任ある外国人材受入と「選ばれる福井」について考える―』福井商工会議所、2023.7.13.
◇「地方社会で生きる外国人住民の暮らし・仕事・学校」『日本家族社会学会』神戸大学、2023.9.3.
◇「人口減少時代における地方創生 ～地方自治体による施策の検証から～」『平和政策研究所政策研究会』Zoom、2023.11.25.
◇「中部地域における人口動向と今後の展望」『日本人口学会・中部地域部会』Zoom、2023.12.2.
◇「人口減少下における越前市のこれからを展望する」『越前市議会議員研修』越前市役所、2024.1.30.

【７件】

⑤ その他の公表実績

◇書評「人口減少・少子高齢化社会の政策課題」『季刊・個人金融』2023 年秋、ゆうちょ財団、p82-83

【１本】

(2)科研費等の競争的資金獲得実績
◇未来協働プラットフォームふくい推進事業
(3)特許等取得
(4)学会活動等
「日本人口学会・中部地域部会」幹事

５．地域・社会貢献活動

◇越前町「総合振興計画審議会」会長
◇おおい町「未来創生戦略有識者会議」会長
◇おおい町「まちづくり政策コンテスト」審査員
◇福井県「国民健康保険運営協議会」会長
◇NPO 法人「健康長寿の会」顧問
◇まちづくり福井「県都グランドデザイン関連プロジェクトの効果等の調査分析にかかるワーキンググループ」委員

６．大学運営への参画

⑴補職
⑵委員会・チーム活動
⑶学内行事への参加
⑷その他、自発的活動など